

皆さん、おはようございます。まずは、今日も朝練をつぶして、体育館にシートを敷いてくれるなど、会場の準備をしてくれた体育館系運動部の皆さんにお礼申し上げます。いつもありがとうございます。また、片づけもよろしく願いますね。

さて、「冬休み及び新年を迎えるに当たって」ということで、学校は、4月始まり3月終わりなので、年末年始は、通過点なのですが、せっかくですので、この1年を振り返るのもいいでしょう。皆さんにとって、2017年は、いかがでしたか。私は、皆さんのおかげで、とても楽しい1年でした。改めて、千里の校長でよかったと、幸せを今こうしてしみじみとかみしめているところです。ただ個人的に、この1年で何が変わったといえば、人間ドックの数値が変わったくらいで、何の成長もしていない自分を情けなく思っています。皆さんは、どうでしたか。何か変わりましたか。イギリスの冒険家ラポックは、「他人と比較して、他人が自分より優れていたとしても、それは恥ではない。しかし去年の自分より今年の自分が優れていないのは、立派な恥だ。」と語っています。恥は、言い過ぎかもしれませんが、他人との比較ではなく、自分自身との比較を通して、成長することの大切さを述べた言葉ですね。

千里の1年を振り返る意味で、皆さんや保護者の方には、授業アンケートや学校教育自己診断などのいろいろなアンケートに協力していただきました。その結果をよく分析し、千里高校をもっと良くするためにどうすべきかをよく考えて、皆さんには「千里に入って良かった」、中学生には「千里に入りたい」と思ってもらえるような学校にするよう、なお一層取組みを進めていきたいと思えます。そのためには、皆さんの力が必要ですので、よろしく願います。

アンケートと言えば、体育祭・文化祭アンケートにおいて、「体育祭と文化祭の日程が詰まっていて、準備がきつい」との意見が複数あったことを踏まえ、生徒会執行部の皆さんが、「体育祭6月上旬実施」について、生徒全員の意見を集約するために、アンケートを実施してくれました。実施に当たっては、執行部の皆さんが、体育祭を6月上旬に実施することのメリット、デメリット及びデメリットに対する対策について、丁寧に説明してくれました。そのアンケートの結果や「6月上旬実施」かどうかについては、この全校集会の中で、生徒会会長さんから、報告してもらいます。

さて、今日12月22日は、冬至です。一年で昼が最も短い日ですね。昔から冬至には、ゆず湯に入ったりとか、カボチャや大根を食べたりとか、いろんな風習があります。太陽の力が最も弱まる冬至を過ぎると陰が極まり陽に転じる日という「一陽来復」と呼ばれる考え方が根本にあるのだそうで、この日を境に運氣も上昇し、物事が良い方向に向かうと信じられていました。それに合わせて、滋養のある食べ物を摂ってゆっくり養生して過ごそうということでしょう。昔の人は、今の我々よりも、季節の移ろいや、太陽や月、星などの宇宙の営みに、敏感だったようですね。

宇宙と言えば、現在、宇宙飛行士の金井 宣茂（かない のりしげ）さんが、国際宇宙ステーションに行っておられます。約6か月滞在されて、健康長寿に関する課題解決型研究に取り組まれるそうです。千里高校でも、8月のSSH北海道研修旅行で、名寄市立天文台、ロケット開発の植松電気株式会社、北海道大学大学院宇宙システム工学研究所、地球惑星科学研究所などを訪問して、宇宙に関するレクチャーを受けましたね。また12月の2年総合科学科の研修旅行では、ハワイ島のマウナケアで星空観察を行いました。今年は、天候に恵まれ、「天の川もとってもはっきり見えました。もう一生分くらい星を見ました。」と、ブログで報告してくれました。マウナケアとまではいきませんが、日本でも年末年始は、周囲の明かりも少なく、また空気も澄んでいるので、天気良ければ、夜空を見上げるのもいいかもしれません。最後に、奈良時代の歌人、大伴家持の歌を紹介しましょう。小倉百人一首にも入っています。この歌と星との関係は、調べてくださいね。

「かささぎの 渡せる橋に おく霜の 白きを見れば 夜ぞ更けにける」

2年生は、1月にかかるた大会がありますね。ちなみにこの歌は、「二字決まり」なので、「かさ」と聞いたときに、「白きを見れば～」の札を取らねばなりません。しっかり練習してください。

ではまた、1月に、元気な姿でお会いしましょう。

“I wish you all a Merry Christmas and a Happy New Year. See you.”